



中栗原第3自治会 (座間市)

やさしいリーダーシップで広がる地

■家族ぐるみのつながりを大切に活動

座間市栗原地区(国道246号、中原小学校、立野台、海老名市に接するエリア)に位置する中栗原第3自治会。「同じ地域に住む仲間として自治会に入った以上、できるだけ多くの人に参加でき楽しい思い出となる活動をしよう」という自治会長の鈴木正夫さんの熱い想いのもと、自治会全体で家族ぐるみのつながりを大切にして活動に取り組

んでいます。

1998年から会長を務める鈴木さん。今年で22年目になりますが、就任当時は、各戸を訪ねて自治会費を集めることが一つの行事であるほど、自治会意識は乏しかったそうです。

■イベントを通じて生まれた住民の連帯

これではいけないと思い、地域の方々が楽しめるイベントを次から次へと企画。そして実現したのが、大磯海岸での地引き

網とバーベキュー、春秋のハイキング、2年に一度のバス旅行でした。

中でも、毎年夏に開催する鈴木さんの自宅前で行われるバーベキューには、150人以上の方が参加するなど、地域の名物イベントになっています。

さらには、地域の方々に自治会活動をお知らせする「会報」も新たに始めました。会計監査を担当する久保さんは話します。「鈴木会長の発案で始まっ

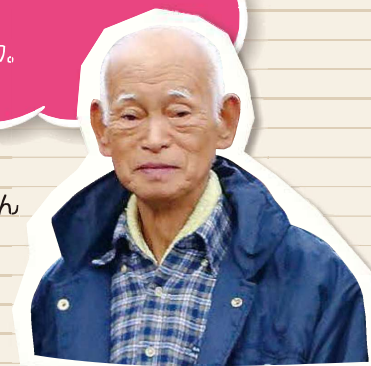


域の輪

様々なイベントは、自治会に大きなインパクトを与えました。イベントを通じてご近所同士のつながりが生まれ、道端で自然に挨拶をするようになりました。また、イベントに参加していない方からも声をかけられることもあり、「会報」による情報はしっかり行き届いていると実感しました。この自治会の一員で本当によかったと思っています」。

一言アドバイス

喜んでもらうためには、自ら率先して動くことが大切。



中栗原第3自治会
会長 鈴木 正夫さん

成功のコツ

- ・気配りができ熱い想いのあるリーダーの存在
- ・地域の強い結束を促すような家族参加型イベントの実施
- ・有志による活動を生み出す雰囲気づくりや仕掛け

■目指すは地域の強い結束

鈴木会長に今後の取組みについて伺ったところ、「災害があった時に、みんながワツと集まってくる、そんな仲間づくりをこの自治会でやりたいと思っています。そのためにも、家族で参加できるようなイベントを開催して、お酒でも飲みながら楽しくコミュニケーションをとって住民同士の関係を築いていきたいなど。だから今後も可能な限りイベントを開催していきます」と意欲的です。

また、「近年は、有志によるサークル活動として折り紙教室が行

われています。今後はこうしたサークル活動が続々と生まれてきたらうれしいですね」と手ごたえも感じているようです。

地域に暮らす家族と家族のつながり。鈴木会長を中心とした中栗原第3自治会の活動は、活気溢れる地域づくりと温かいコミュニティの形成につながっています。

